

平成30年 第1回 川崎市議会定例会 3月議会 ご報告

平成30年度一般会計予算 -老朽化が目立つ校舎、改修予算を大幅に拡充-

去る2月13日(火)から3月16日(金)の会期にて平成30年川崎市議会第一回定例会が開催され、予算関連議案を含む計86議案の審議が行われました。

5年連続の市税収入の増加により過去最大規模となった平成30年度一般会計予算ですが、税収増以上の扶助費の伸びは決して楽観視出来るものではありません。公債費に対して市債発行の抑制を図ったことで市債残高は減少となるものの、財源不足を理由とした196億円の減債基金からの借入は単年度としては過去最高額となり、将来に禍根を残しかねない要因となっています。そこで、平成27年度に示された財政フレームにおいては43億円とされた借入額が増えた理由とその返済目途等について質問を致しました。

また、この間、施設の老朽化が目立つ学校施設の再整備を求めて参りましたが、このたびの予算案において大幅に拡充されることになりました。具体的な内容を明らかにするとともに平成34年度の完了を目途とする学校トイレの改修予定についても併せて質問を致しました。

川崎市議会 テレビ特別番組座談会「予算の審議を前に」

平成30年度 予算に関するネーミング「先行投資重視予算」

放送日 平成30年2月25日
20時00分〜20時55分
3チャンネル

依然として厳しい財政状況は続きますが、将来的な市内産業の強化に向けた成長戦略に重点をおいた予算と見ています。

平成30年度の予算編成に関する注目点としては「力強い産業都市づくり」経済成長に向けた取組みです。これからの市内経済を上昇させていくための先行投資に重点が置かれている印象を持ちました。特に注目すべきは、新川崎・創造のまち推進事業であり、研究開発施設(AIRBIC)の費用として29億3000万円が計上されています。平成31年1月の共用開始に向けて整備が進んでおり、新たな産学交流・研究開発が行われる施設となる見込みです。



出演者: 齊藤 伸志

「今後の財政運営の基本的な考え方」が公表
-将来にツケを残さない財政運営を求める-

このたびの予算案の公表とともに「今後の財政運営の基本的な考え方」が示されました。以下に平成28年に公表されたものととの比較を掲載していますが、収支均衡が5年延期されるとともに借入れ残高が918億円を見込むなど財政悪化が懸念される内容になっています。

市側の答弁によれば、消費税率引き上げの延期、県費負担の教職員の市費移管にあたっての児童生徒の増に伴う教職員数の増・ふるさと納税や法人市民税の国税化等の影響・障害者福祉サービスや待機児童対策の増等がその主な要因とされています。

国の事情に負う面が大きいものの、不足の事象への備えと将来にツケを残さない為の財政運営を求めました。

	平成28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年
平成28年以降の表									
歳入計	3601	4098	4136	4210	4293	4367	4316	4331	4355
歳出計	3693	4217	4179	4206	4248	4276	4310	4324	4349
収支	▲92	▲119	▲43	5	5	11	6	7	6
平成30年以降の表									
歳入計			4094	4136	4293	4314	4347	4379	4361
歳出計			4290	4293	4340	4378	4396	4396	4395
収支			▲196	▲158	▲47	▲64	▲49	▲17	6

(赤字分は減債基金より借入れ)

収支均衡5年先送り

(単位: 億円)

住宅宿泊事業、いわゆる「民宿事業」への取組と事故防止対策は?

- Q1 2020オリンピック・パラリンピック開催期間における宿泊施設の需要と現状は?
A1 近年は訪日外国人が急増しており、本市宿泊施設の稼働率が約80%と高水準で推移している。開催期間は、交通利便性のよい本市への一時的な需要も見込まれ、宿泊需要は一層高まると認識している。
- Q2 本市の民宿の実態は? 届出、監督体制などでの留意点は?
A2 平成30年度には、届出物件の実態調査等を行う。届出の審査に加え、届出物件の現地確認も併せて行う。
- Q3 事件・事故が表面化する中、違法民泊への対応は?
A3 住宅宿泊事業法の施行にあわせ、旅館業法も改正され、無許可の営業施設への罰則強化や立入検査等が可能となった。関係部局と連携して適切に対応する。



取材者: 野田 雅之

民泊事業に対し、今後も「市民最優先・安全・安心」な制度の構築に取組んで参ります。

鷺沼駅周辺再整備事業について -鷺沼駅周辺の渋滞対策を求める-

鷺沼駅周辺再整備事業について、この度「公共機関の移転に関する考え方」が示され、平成30年度中に区役所・図書館・市民館の鷺沼駅移転の方向性が示されることとなりました。

我が会派の質問に対し、当局からワークショップやフォーラム等の手法として、意見交換に関する専門的な知見を有する事業者の支援を予定するほか、公募型プロポーザルや公募市民の募集、無作為抽出の区民アンケートも実施予定との答弁がありました。渋滞対策については、公共交通機関の充実や接道における右左折レーン設置の他、公共機能移転可能性の方向性を見極めながら、交通管理者や準備組合等と十分な協議を行い計画に反映していくことが示されました。

また、このたびの質疑において、現区役所跡地の活用に関する考え方を基本方針策定時に盛り込むことを求めています。



平成30年度 自民党市議団の構成

新年度から常任委員が新しくなります。

麻生区				多摩区			宮前区			高津区			中原区			幸区		川崎区		
まちづくり委員会	総務委員会 市議団団長	健康福祉委員会 議運委員長	環境委員長	総務副委員長	まちづくり委員会 元市議会議長	健康福祉委員会 前市議会議長	環境委員会	総務委員会	総務委員会 元市議会議長	文教委員会	まちづくり委員会 市議団副団長	文教委員会 現市議会議長	健康福祉委員会 市議団副団長	文教委員会 元市議会議長	文教委員会	健康福祉委員会 元市議会議長	環境委員長 元市議会議長			